デフテラ

使用器具   　評価ポイント —

自身の遺伝子を無限に複製し、腫瘍を生み続けるギルス。デフテラは2体（赤と青）で1対となる病原体で、色違いのデフテラが接触すると一定時間融合するので、融合中にドレーンで組織液の吸引を行なう。これを数回繰り返すことでデフテラを硬質化させることができ、メスでの切除が可能となる。ただし、切除可能時（ガイドライン表示時）にバイタルが大幅に減少するので注意したい。切除したあとはデフテラを回収し、切除痕の上に人工膜を乗せてヒールゼリーで定着させれば処置完了。処置時の評価は存在しない。

同色のデフテラが融合した場合、患者のバイタルを減少させ、周囲に腫瘍を生み出す。この腫瘍は、通常時にデフテラが生み出す腫瘍と同じで、黒と白の2色が存在し、黒はバイタルへのダメージが大きいが増殖しにくく、白は増殖しやすいがバイタルへのダメージは小さいという特徴がある。そのため、発生直後は黒を優先してレーザーで焼却し、数が多いなら白を優先的に焼却するのがいい。

［手順］

- ❶ ドレーン　融合したデフテラの組織液を吸引
- ❷ メス　硬質化したデフテラを切り離す
- ❸ ピンセット　切り離したデフテラをトレイへ運ぶ
- ❹ ピンセット　人工膜を切除痕に乗せる
- ❺ ヒールゼリー　人工膜を定着させる
- — レーザー　腫瘍を焼却

この術式で最も優先すべきは、デフテラの生み出す腫瘍の処置。いち早くレーザーで焼却しよう。

バイタルは低下するが、デフテラの前方にヒールゼリーを塗ると移動方向を変えることができる。

組織液の吸引を3度行なうと硬質化へ。模様が吸引ごとに変化するので見分けも可能だ。

同色で融合した場合は、組織液の吸引ができない。腫瘍の処置やバイタルの回復をしよう。

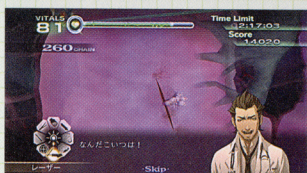
サヴァト幼体

使用器具　評価ポイント △

臓器内に潜み、仲間と融合することで成長を遂げる病原体。ギルスの一種であるサヴァトは、幼体（小サヴァト）の状態で臓器を突き破って出現する。この小サヴァトは、レーザー照射で焼却可能だが、一度に発生する数が多く、対処するのが厄介。ただし、臓器から飛び出す瞬間は１ヵ所から扇状に広がるので、広がるまえにまとめて焼却してしまうのが最良だ。

小サヴァトたちは一定時間動き回ると、仲間を呼び寄せて成体（青サヴァト）になる。この青サヴァトは耐久力があるのでレーザー照射を続けて行なわなければ焼却できない。さらに生存中は患者のバイタル上限を減らす。そのため、青サヴァトに成長させないことが重要となる。

［手順］

- ❶ レーザー　小サヴァトにダメージを与える
- ❷ 針と糸　出現時に発生した傷口を縫う

小サヴァトの出現時に発成する傷口の処置が評価対象になる。評価の基準は裂傷と同じだ。

青サヴァトが発生するとバイタル上限値が低下してしまう。素早く倒して上限値を戻そう。

術式テクニック

術式を把握することができたら、エピソードの攻略に挑戦しよう。クリアに役立つ情報やハイスコアを目指すためのワンポイントテクニックを紹介する。

評価ランクは気にせず、まずはクリア

手術のなかには、患部を素早く処置する場面も存在するが、最初のうちは落ち着いて１つずつ患部の処置を行ない、極力ミスをしないことを心がけて術式を進めていこう。助手や仲間の助言も聞き漏らさず、困難な状況になったら超執刀を惜しまずに活用し、まずはそのエピソードを最後まで進めて手術の流れを覚えるとよい。流れを把握したら、同じ器具で処理できるところをまとめて治療したり、スペシャルボーナスを狙って術式を進めるといいだろう。高ランククリアやハイスコアを狙うのはそれからでも問題ない。

助手のエレナは、ミスをした際にその原因を教えてくれる。同じミスを繰り返さないように。

つねにバイタル回復のことを考える

患部の治療中はバイタルが少しずつ下がる。また操作ミスをしたり、スティグマが傷を発生させたりすると、バイタルは大きく下がってしまう。そのため次の傷が発生するまえや、スティグマが画面から消えた瞬間など、たとえバイタルが上限に近い状態にあっても、とにかく隙を見てはバイタルを回復させるようにしよう。また、手術をより安全に進めるなら、開創処置を行なうまえにバイタルを上限値まで回復させておくといいだろう。なお、メスやレーザーで患部を処置したときもバイタルは下がることも覚えておこう。

腫瘍を切り離したり、内出血を切開するなど、メスで患部を処置したときもバイタルは下がる。

連続して使えない器具

レーザー、注射、ヒールゼリー、メスの4つの器具は、連続で使える限度が設定されている。そのため限度まで使い続けると、ペナルティとして一定時間その器具を使えなくなってしまう。限度へどのくらい近づいているかは、パレットにあるアイコンの色の変化（緑→黄→赤→アイコン消滅で使用不可能）で確認することができる。これら4つの器具は、術式を進めるにあたっては頻繁に使用する重要なものなので、アイコンが赤色になったら、できるだけ休みを入れるようにして、使用不可能にならないように注意を払いたい。

レーザーはスティグマを焼却するために必須の器具だ。そのため使用不可能にもなりやすい。